

留 学 報 告 書

記入日:2019年8月29日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: リヨン政治学院 現地言語: Sciences po Lyon (L'Institute d'Etudes Politiques)
留学期間	2018年9月～2019年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年6月24日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月上旬から1月上旬 2 学期:1月下旬から5月下旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	1400
創立年	1948

留学費用項目	現地通貨 (€)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	3560	473700円	初月のデポジットと住宅補助分は引いている
食費	3170	412450円	
図書費	0	0円	
学用品費	90	11900円	
教養娯楽費	1510	201400円	
被服費	250	32900円	
医療費	0	0円	
保険費	0	0円	形態:
渡航旅費	920	122500円	
雑費	1170	155800円	
その他	3630	482400円	旅費(ヨーロッパの多くの国へ旅行しました)
その他	575	76500円	外口代+土産+携帯代+帰国時の発送料
その他	130	17100円	行政手続き費用(visa など)
合計	14940	1986600円	奨学金を 102 万円もらったので実質払ったのは 966600円

渡航関連

渡航経路: 成田→北京→パリ→リヨン(パリからはリヨンは TGV を使用)

渡航費用

チケットの種類	エコノミークラス
往路	56600
復路	65825
合計	122425

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

skyscanner

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学側から予約してあるというメールを頂いたのでそのままその予約でお願いしました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学からかなり近く周りにもスーパー、図書館、カフェなど過ごしやすい環境が整っていました。寮内で盗難が発生したので、施錠は当たり前ですがしっかり行うべきです。寮母さんは良かったです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題はありませんでした。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省、大使館からのメールはいつでも受け取れる様にして、海外安全アプリを入れて旅行先の国の情報も受け取れる様にしていました。アジア人はスリに狙われやすいので常に肩がけファスナー付きのバックに貴重品入れて、肌身離さず持っていました。また、夜の一人歩きはなるべく避けました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Free という会社の sim は格安ですがたまに接続が悪くなることもありましたが、しかしほとんど大きな問題なく使えました。寮、図書館、カフェなど wifi があるところは多く、便利でした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的には日本のクレジットカードと日本から持ってきた現金を使いました。(500 ユーロ札はあまり出回っていないので持ってくるときは細かい札で持ってくることをオススメします。)フランスのクレジットカード(CB)しか支払いできないケースのあったので、現地で口座開設した時に入手できてよかったです。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

筆記用具(日本のものが使いやすい)、高校の政経の教科書、電子辞書、日本の薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
現在模索中です
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
語学はフランスで勉強をしている中でも、学びを吸収するため、自分の意見を言うための手段でした。同様に、就活においても自分の将来を決める軸には思った以上にならないと知りました。語学は自分のやりたいことを助ける手段としてとても大切ですが、まずは自分のやりたいことを見つけることが何よりも重要なのだと知りました。また政治を学んだことで、社会に少しでも貢献したいと思う様になりました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
45(ECTS)単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
French Politics	フランスの政治
科目設置学部・研究科	
履修期間	9月から12月
単位数	3(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Alistair Cole
授業内容	フランスの近代の政治体制について(主に第5共和政)、歴史を追って学習しました。そして、EUとの関係、イエローベスト運動の問題など現在起こっている問題について講義が進められました。
試験・課題など	試験は二時間の授業の中で行われ、当日教授から与えられるいくつかの質問の中から一つ選び行う小論文が二つありました。
感想を自由記入	フランスの政治の基礎的な仕組み、そして現在起こっている問題について、現地で学ぶことができたのは大変貴重な経験でした。特にマクロン大統領に対する黄色いベスト運動については留学での私生活にも影響の出るほど大きな問題だったので、専門としている教授の解説が聞いて理解が深まりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Europe's Nuclear Independence		ヨーロッパにおける核の独立	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月から12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Thierry Fortin		
授業内容	ヨーロッパそして世界は核とどの様に関わってきたのかについて、核の歴史、戦争などの背景を通して学びました。		
試験・課題など	最後の授業内で初見の質問に対して小論文を書きました。		
感想を自由記入	フランス、イギリス、アメリカ、ドイツ、日本などそれぞれの国が核に対して異なる姿勢を取っていることはとても興味深かったです。ヨーロッパのそれぞれの国について詳しく知ることができるのはフランスで学ぶならではでした。この授業では、被爆国・福島の原因事故が起きた国として、他の授業以上に日本が大きく取り上げられていました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The US-UK special relationship		イギリスとアメリカの特別な関係	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月から12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Thierry Fortin		
授業内容	イギリスとアメリカの密接な関係を歴史上の様々なトピックを用いて学びました。		
試験・課題など	最後の授業内で初見の質問に対して小論文を書きました。		
感想を自由記入	初めてのテストがこの授業だったため、初見の質問に対する小論文への試験勉強の仕方がわからず本番はかなり困惑しました。Europe's nuclear independenceと同じ教授だったのでつながる点もあり、より深い理解につながりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Unification of Italy		イタリアの統一	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月から12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Marcello de Caro		
授業内容	1861年のイタリアの統一、そしてその後のイタリア政治について文化にも着目しながら学びました。		
試験・課題など	最後の授業内で、その場で与えられたトピックの中から3つ選び小論文を書きました。		
感想を自由記入	イタリアの歴史は日本で多く学ぶ機会がなかったので、フランスだからこそ学ぶことのできる授業で、貴重な機会でした。ムッソリーニについては、彼の性格まで掘り下げ、ファシズムにおける日本、ドイツとの関わりについても学ぶことができ大変興味深かったです。教授は陽気な方でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Weak Parties, Weak Democracies: A comparative look at the State		弱い党、弱い民主主義: アメリカとの比較	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月から12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Vincent Michelot		
授業内容	アメリカとフランスの政治を比較する授業でした。基本的な構造の違いを知り、今フランスで問題になっていることがなぜアメリカでは起きないのかなど、二つの国を用いて問題をより深く理解するを行いました。		
試験・課題など	試験は二時間の授業の中で行われ、当日教授から与えられるいくつかの質問の中から一つ選び行う小論文が二つありました。		
感想を自由記入	パワーポイントや配布資料もなく淡々と教授の話のみで進められる授業だったので、理解をするのが一番大変でした。内容は興味深く、時事を積極的に取り入れて進められるのでそのとき知りたいことを学ぶことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
European Imperialism in the 19 th Century		19世紀におけるヨーロッパの帝国主義	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月から12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Martin Porter		
授業内容	帝国主義とは何か、グローバル化された現代での帝国主義とは何か、近代における歴史を振り返りながら考えました。		
試験・課題など	事前に与えられたいくつかのトピックの中から一つ選び、1時間半の最後の授業で小論文を書きました。		
感想を自由記入	先生がアートに精通した人で、帝国主義について映画や音楽を取り入れながら教えてくださり理解しやすかったです。日本の帝国主義に関して学ぶ機会があり、日本も帝国主義の時代があったのだと改めて気づかされ、当時の世界で帝国主義というものが持っていた力の強さを知りました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Justice and Democracy in the Era of Globalization		グローバル化の時代における正義と民主主義	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月から12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義と生徒によるプレゼンテーション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Sophie Papaefthymiou		
授業内容	グループを自由に作り、それぞれの決めた題材についてプレゼンをし、その後議論を進めていきました。		
試験・課題など	プレゼンテーション		
感想を自由記入	初めてのプレゼンテーションの授業でした。かなり自由に題材を決めることができた分内容を濃いものにするや英語が拙い中で30分近く話し続けることには緊張しましたが、やり遂げた時には達成感がありました。また他の生徒のプレゼンテーションも興味深いものばかりでした。しかし、教授の差別とも思える発言に困惑する場面がありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Economic crisis, democratic legitimacy institutional confidence		経済危機、民主的正当性と制度的信頼	
科目設置学部・研究科			
履修期間	11月～12月		
単位数	3(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義と生徒によるプレゼンテーション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が3回		
担当教授	Carlos GARCIA RIVERO		
授業内容	民主主義がそれぞれの国でどのように機能しているか毎週異なる点に注目しながら考えました。そして、グループごとに国を決めプレゼンテーションをしました。		
試験・課題など	毎週のプレゼンテーションと最終授業日の最終プレゼンテーションで評価されました。		
感想を自由記入	毎週かならず1つのプレゼンテーションをかなりキツキツのスケジュールの中でしなければなりません。その分皆の前で話すことにだいぶ慣れることができました。日本の民主主義について話した際、疑問が他の留学生から寄せられたことは自分の国の政治について改めて考え直す大きなきっかけとなりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
French Intensive Language Course Sem1		フランス語 語学授業	
科目設置学部・研究科			
履修期間	9月～12月		
単位数	6(ECTS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に180/120分が2/1回		
担当教授	Dominique DREVET		
授業内容	フランス語初級レベルの文法、発音、会話全ての技能を学びました。		
試験・課題など	ほぼ毎回、プリント、記述、プレゼンテーション準備などの課題が出されました。中間筆記テスト、最終口頭テスト、最終筆記テストがありました。		
感想を自由記入	週8時間みっちりネイティブの教授から全ての技能を教えていただけるのは、フランスで生活をする中で非常にありがたかったです。フランス語をフランス語で教えてくださるので、初めはわけがわからない状態でしたが、その分理解するためにより力を入れて教授の発している全ての言葉を聞き取ろうとするので、段々理解できるようになりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Economie japonaise et intégration régionale en Asie		日本経済とアジア地域統合	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2月～3月		
単位数	3(ETCS)		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に120分が1回		
担当教授	Adrienne Sala		
授業内容	戦後の急成長やグローバル化における日本経済の資本主義モデルについて学びました。		
試験・課題など	"Japanese capitalism in crisis"という本を要約しました。		
感想を自由記入	フランス語でしたが、日本の経済に関する授業でしたが理解に苦しむ場面もありました。しかし、教授に質問をすれば丁寧に再度説明して下さったのでなんとか乗り越えることができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Les cinématographie asiatiques: figures, styles, personnage	アジア映画: 図、スタイル、文字
科目設置学部・研究科	
履修期間	1月～4月
単位数	3(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Corrado NERI
授業内容	アジアのそれぞれの国の映画を歴史とともに比較しました。
試験・課題など	最終授業の中で、いくつかの中から選んだ質問に対して小論文を書きました。
感想を自由記入	授業から試験まで全てフランス語で行われたためかなり苦労しましたが、毎授業後友達からノートをもらい乗り越えることができました。日本の古い映画について知ることができ、またそれに対するフランス人の反応も知ることができとても興味深い授業でした。実際に多くの映像を鑑賞することができ、先生も面白いので古い映画が好きなようでしたらかなり満足できると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Terrorism and Political Violence	テロリズムと政治的暴力
科目設置学部・研究科	
履修期間	3月
単位数	3(ECTS)
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Phillip Potter
授業内容	テロリズムについて、種類、要因、解決方法など毎回細かく題材を決めて理解を深めていく授業です。グループディスカッションの時間が必ず設けられました。
試験・課題など	毎回の授業前に一つの論文を読まなければなりません。(授業でのディスカッション、予習のため) 最終授業内で記号問題、記述を組み合わせたテストが行われ、それにより評価されました。
感想を自由記入	授業の進め方、内容全てが今回の留学で1番好きな授業でした。授業が終わってしまうのが悲しいくらいでした。フランスというかつてテロがあった場所でテロリズムについて学ぶことができるというのは本当にありがたい機会でした。日本の地下鉄サリン事件、赤軍の存在も多く取り上げられ、日本も決してテロから無縁ではなく、テロは世界中の大きな問題であると感じました。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	入学、TOEFL 受験
8月～9月	TOEFL 受験、留学計画書の作成
10月～12月	選考開始
2018年 1月～3月	1月 リオン政治学院に決まる 3月末 出願手続き開始
4月～7月	6月 受入許可書類が届く 7月 visa 手続き、寮手続き
8月～9月	9月上旬 出発
10月～12月	12月 秋学期試験
2019年 1月～3月	
4月～7月	4月末から5月 春学期試験 6月 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	今まで全く関わったことのない、そして言語も通じないところで、自分を挑戦させかけたからです。語学を学ぶことは留学をせず日本でもできますが、言葉も文化も違う周りに頼りの少ないところで生活をし、他国の留学生と勉強をするという経験は留学でしかできないと考え決めました。そして、英語圏でもない遠い場所で、自分の力で困難を乗り越えて成長するには、長期留学であるほど良いと考えました。
留学のためにした準備、 しておけば良かったと思う 準備	行った準備：フランス語の学習です。また、日本に思い残すことをなくし留学に集中するため、日本でしかできないことをやりきってから留学に行きました。（私は富士山に登りました）そして、留学中にある成人式への未練を断つために前撮りをしました。しておけばよかったこと：英語力フランス語力をもっと向上させておけばよかったと思っています。ですが、向上させるのはかなり難しいので、政治に関する単語だけでも的を絞って学習しておけばよかったと思っています。また、留学中自分の国の政治についてすら理解できていないため、質問に答えられないことが多々あったので、日本の政治に関する知識をつけておくべきだったと思っています。また、授業や普段の会話で時事ネタが当たり前のように出てくるので、新聞や書籍を読む習慣をつけることはしておくべきだったと思っています。
この留学先を選んだ理由	知り合いがおらず、英語圏ではない、そして陸続きに他国があり EU という地域統合体があるという、日本という島国とは異なる点が多く、挑戦の場として最適であったため志望校を全てヨーロッパにすることに決めました。そして、その中でフランスを選んだのは、自分の学びたい「移民」についてテロもあり密接に関わっているためより深く学ぶことができると考えたため、また映画、音楽、ファッション、食などの豊かな文化に触れ、フランス語を身に付けたいと考えたためです。
大学・学生の雰囲気	リヨン政治学院は厳しい受験を突破しなくては入学できないグランゼコール（エリートを輩出する国立高等教育機関）なので、皆勉強熱心で、自分の学校に誇りを持っている生徒たちでした。一般の大学とは異なり、学校の規模が小さいので留学生も含め生徒同士の距離がとても近いと感じました。明るい気さくな生徒が多く、勉強だけでなくスポーツや音楽にも熱い人が多い印象でした。オンとオフの切り替えが皆上手でした。またアジアに興味がある人が多い印象でした。
寮の雰囲気	オートロックもあり、寮母さんがいることが多いので（夜も）安心して落ち着いて暮らすことができました。あまり多くの方は参加していませんでしたが、毎週多くのイベントが開催されています。（食事、ヨガなど）知り合いを増やしフランス語を上達させる良い機会でした。基本的に私の部屋の周りは落ち着いていましたが、中には夜にパーティをするうるさい部屋もあったようです。
交友関係	リヨン政治学院の BDI という団体が留学生との交流のために多くのイベントを用意してくれました。積極的に参加していると徐々に友達が増えて行きました。また、音楽サークルやアジアに興味のある子が集まるサークルに入っていたことで、そのサークル内にいる留学生やフランス人と仲良くなりました。特に音楽サークルは留学生活の大きな鍵を握るものになりました。音楽は国境を越えて親しまれているので、フランス語を日々話すことのできる親しい友人との関係をより強固なものにすることができました。
困ったこと、大変だったこと	予備知識がなさすぎて授業についていけなかったことです。語学力が足りないことはもちろんですが、それ以上に拙い英語やフランス語を使っても意見を述べられない自分の無知さに呆れるほど衝撃を受けました。秋学期の授業で多くのことを学んだことで、春学期にやっと考えることができるようになり、自分の意見を述べられるようになりました。また、周りの目を意識しすぎると自分の性格を直すことには非常に苦労しました。留学先でできた友達が、「自分のやりたいようにやらない」と言ってくれたこと、そして「フランス留学という経験は貴重なのだからやるしかない」と思わせるこの留学の存在が私の性格を改善してくれたのだと思います。

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>政治に関することのみを学ぶ「政治学院」だったからこそ、より深く学ぶことができました。政治学は少し遠い存在だと思っていましたが、学んでいくうちに政治は世界を大きく動かす力を持っているのだと知り、政治学を学ぶことの重大さを感じました。気づいたら留学前よりも留学の終わりに近づくにつれてさらに強い学習意欲を持つようになっていました。また、日本ではなかなか経験できないプレゼンテーションには鍛え上げられました。拙い語学力でもどうやったらわかりやすく伝えるか、どのように練習すればいいのか、どうしたら興味をひく内容になるのか、時には友人に相談をしながら試行錯誤して行いました。</p> <p>そして、前期に週 8 時間のフランス語の授業を取り、後期には自分で安い語学学校に通い、フランス語を学ぶ時間を多く取りました。しかし、友達と話すなど、普段の生活の中で学んだことを生かして実践する機会を多く作ることも、フランス語の上達には必要不可欠であると実感しました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>普段の授業後の課題は語学と二つの授業以外ほとんどありませんでした。しかし、プレゼンテーションの発表の前は、授業後も準備をしなければならず、夜も寝れない日が続きました。その分成果が出た時の達成感は忘れられないものとなりました。</p> <p>試験はフランスらしく記述式のものが多いです。日本のレポート提出とは違い、授業の 2 時間内でいきなり出される質問に対して論文を書き上げる形式は、慣れず難しいものでした。初めは意見を述べるのだから暗記テストより楽なのではと思っていましたが、まず知識が全て頭に入っていないと意見も根拠も述べることができないと知りました。ただの暗記ではなく、自分はそのことについてどう思うか一つ一つ考えながら暗記する必要がありました。暗記を越えた先の力が試されました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>音楽サークルとアジアに興味のある人の集まるサークルの二つに参加していました。音楽サークルは留学中にコンサートを 3 本やりました。ライブが近づくとはほぼ毎日集まって練習をしたことや、最後の gala という全校生徒とのパーティーで演奏したことは一生忘れられないと思います。</p> <p>また、アジアのサークルは日本の良さを再確認する機会になりました。日本語を一生懸命勉強している友人をサポートする中で、日本語の美しさを改めて知り、日本にこれほどまで熱い気持ちを持ってくれているのだと日本人として胸が熱くなりました。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>思ったよりも「上手いことばかりの連続」だということを知っておいてほしいです。TOEFL の点数も必要になるなど留学前も大変ですが、留学中も自分の実力の無さに何度も気づかされます。でもそこで諦めないでほしいです。「これが普通だ」くらいに思って、自分がやりたいと思ったことは、一回失敗してもいいからそのやりたいという気持ちを大切に、実現するために行動し続けてほしいと思います。</p> <p>そして、私は留学中に「知らなかったふりをしない」と決めていました。留学中、一回知り合った人を再び見かけた時に、声をかけるか迷う時がたくさんありました。その時に大切な出会いをなかったことにして欲しくないです。どんな場所でも留学の内容を決めるのは、出会った人だと思っています。出会いに照れずに行動してもらいたいと思います。</p>



一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業			旅行	旅行
	授業	授業		授業	図書館で自習		
午後	買い物	授業					旅行しない週末は
		授業	授業	授業	授業		公園でピクニックなど友達と遊ぶ
夕刻	授業		授業		図書館で自習		
夜	サークル		サークル	サークル	夜行で出発		

